

あおぞら



笛吹川フルーツ公園にて

photo by kamijo

快晴の一泊交流会 In 山梨

5月20～21日に甲州石和方面の一泊交流会が開催されました。両日とも好天に恵まれ、前回の日帰り交流会とはむしろ真逆の暑くて汗だくの交流会でした。かなり前から利用者さんに楽しんでもらおうと、いろんな企画を一生懸命考えて、付き添いの方にも楽をしてもらおうと苦心惨憺。もう二度と行かないなどと言われないよう悪い頭、無い知恵を絞りつくした交流会企画でした。今後も皆さんがどうしても参加したくなるような企画を進めていきたいと考えています。それはともかく・・・予想と異なりほとんど渋滞もなかった為、わざわざ談合坂SAで時間調整をすることに。それでもマンズワインのワイナリーへは開店直後に到着。朝からお酒でキャブは小原庄助



ワイナリーガイドの棒読み 熱心な説明を
真剣に聞く参加者の皆さん

さんかいとの悪口もありましたが、(ごく一部ですぞ)まじめにワインの製造工程の棒読みを聞き、階段のある博物館はショートカットして早速試飲のできる売店へなだれ込む。6,000円以上の購入で宅配料金無料とのことで3本も4本も購入する方も。かなりできあがっ

た赤ら顔のまま昼食バーベキューへ。せつかくの腕の見せ所なのに日ごろサボっている男性ボランティアはやっぱり食べる方専門でした。お肉も野菜もたっぷりあり、けっこうおなか一杯に。ふらふらしながらフルーツパークに到着。(もちろん運転手さんはフラフラしていませんでした)お花畑がすごく綺麗で記念撮影。しかし肝心のフルーツが見当たらず。5月下旬は、苺が終わり、桃の前で、いわばフルーツの間の宿、何にもないのね。



ワインとビールですっかり出来あがった
昼食 BBQを楽しむボランティアさん

(次ページへ)

フルーツ公園は名ばかりか？何故か富士山も気温の影響か、黄砂の影響か雲の隠れて雄姿を見せてくれない。ここは素敵な写真を撮るために企画したのに山梨はやっぱ山無しか、なんてね。富士山はあきらめて「かんぼの宿石和温泉」に到着。予定より早い到着で、お風呂もゆっくり入れました。入浴介助もやれるので（色々入浴介護用品そろえた）皆さん（男性は約1名）ゆっくり温泉を楽しんでいただけたと思います。夕食も余裕たっぷりで思いっきり食べて、飲んだかな？（後者は



ボランティアさんかな）催し物もなかなかの玄人はだし。よそではめったに見られない南京玉すだれ、バナナの叩き売り（基本100円以下）は素晴らしいものでした。お竹大会もあり十人十色の楽しみ方をしてもらえたと思っています。



吉沼さん（バナナおじさん）楽しい時間をどうもありがとうございました！さて、いびきの大合唱を聞きながら眠りにつくと早くも翌日、恐ろしいほどの好天。昨日あれほど飲んだのに、年寄は朝が早いこと。5時過ぎには部屋に小生一人きり。朝食バイキングはメニュー豊富で貧乏性は若干の食べ過ぎ。盛り付けの列は複数あったので我々団体は同一のレーンで取り分けたほうが他のお客さんに迷惑が掛からずスムーズだったかも。若干の二次会飲みすぎメンバーも交え、芸術の薫り高き山梨美術館へ。酒気帯びは寺社参拝不可だが、美術館



は酔っ払いOKか？とにかく言わずと知れたミレー作品の数々。「ミレーを見れー」などと格調高いダジャレをいう人もなく館内へ。バルビゾン派の画家たちの素晴らしい絵画を見ることもなく見て（時間が足りない。きちんと見るなら最低半日はかかる）



一方、視覚障がい者用の手で見る絵画なんてのもあり、説明員にきちり口頭による説明もいただきました。最後のお目当ては里の駅へ。

色々なお土産があり、昼食もそこそこ、つつい自分へのお土産を次々購入。誰だ一升瓶のワインを購入してその日のうちに飲んでしまったのは？持ちきれなくても大丈夫。ご自宅までキャブが宅



配いたします。2日間とも自分でいうのも恥ずかしいが素敵なガイドさん（できれば足の綺麗な10代の新米バスガイドさんが良かったなあ）の飽きて寝させない説明に感動です。ほとんど渋滞もなく、交流部の自画自賛ですが、今回の企画はきわめて計画通りの素晴らしいものだったと思っています。とはいうものの、

ボランティア自身も楽しむ為の交流会なので、利用者さんのお世話がおろそかになったのも事実。担当者の仕事の具体化と実施徹底が次回への課題か・・・。今回の反省点を生かし、より良い交流会を目指しておりますので、今回参加できなかった利用者さんも次回はぜひご参加いただけるよう心からお願いいたします。

文：加持 真人

今回の一泊交流会の参加者を代表して堀田さんから感想をいただきました。ありがとうございました。
下記へ掲載させていただきます。



こんにちは、いつも母がお世話になっております。
この何年か旅行に参加させてもらっています。今回、とても楽しかったのは、何といても
ワイナリー&BBQです。母より私の方が楽しんでいたかも知れませんが、試飲では皆さん、ワ
イワイと楽しそうにしていました。BBQは豚肉がと〜っても柔らかく、野菜も沢山のりで、大満
足でした。美味しかったです。宿の部屋もゆったり、夜の食事やバナナのたたき売りなど笑いっ
ぱなしでした。痛感したのは、下調べがよくされているので、どこへ行っても困ることなく楽
しく過ごせたことです、本当に感謝しています。次回も皆さん、元気でお会いしましょう！

堀田友美子

photo gallery



平成29年度総会開催

平成29年4月23日(日)午前10時、三鷹市上連雀分庁舎二階会議室にて総会が開催されました。司会者の須山氏により出席者及び委任状数、正会員数53名、出席者27名、委任状17名、計44名で成立したことが宣せられました。その後、宮田理事長より開会の挨拶が述べられました。会員の方々への御礼、三鷹市、三鷹市議会、社会福祉協議会からのご支援ご協力への謝辞を述べ、関係各位及び全会員の幅広いご支援ご協力が39年に亘るキャブの活動を支えられてきたことを述べられました。また昨年8月にはこの新しい分庁舎に事務所の移転が無事終了したことを報告されました。今後も利用者の皆様に喜んでいただける安全で安心な運営を心がける意向と、今まで同様のご支援ご指導のお願いをして挨拶を終えました。



来賓の方々



司会の須山氏(左)
議長の坂本氏(右)



清原市長代理の障がい者支援課長・川口真生様、三鷹市議会議長・後藤貴光様、東京都議会議員・中村洋様、三鷹市社会福祉協議会会長・吉野壽夫様から、それぞれ総会開催に先立ってお祝いのお言葉と、日ごろの活動に対する感謝のご挨拶を頂きました。皆様ご多忙の中、本当にありがとうございました。



三鷹市長代理 障がい者支援課長
川口真生様



三鷹市議会議長
後藤貴光様



東京都議会議員
中村洋様



三鷹市社会福祉協議会
会長・吉野壽夫様

その後総会に入り、議長、議事録署名人および書記の選出を行った。それぞれ立候補を募ったが立候補者が出ず、執行部の推薦・出席者全員の賛同により、議長に坂本昭雄氏が、議事録署名人に阿部好美氏、同 久保敏明氏、書記に河合陽子氏、同 上條正名氏が指名された。その後、坂本議長の進行により議事に入った。

第1号～5号までの全ての議案が承認された後、議長は解任され、司会者は午前11時45分に閉会を宣した。

阿部政昭さん、桑原正男さん運転ボランティア卒業!!

この度、阿部政昭さんと桑原正男さんが運転ボランティア定年を迎えられました。宮田理事長からお二人に労いと感謝の言葉が贈られたあと、記念品と花束が贈呈されました。

阿部さんは時に厳しく、そして誰よりも優しいその真っ直ぐな人柄で長年に渡ってキャブを支えて下さった大先輩です。阿部さんのようなベテランの卒業は正直、キャブにとっては大変な痛手ではありますが、阿部さんが安心して卒業できるよう我々も一層の努力して参りますのでどうぞ安心してください。

そして桑原さんは物腰が柔らかく、いつも笑顔の絶えないとっても心優しい方です。

また、運転以外にもコーディネーターとして活躍されていた桑原さん。キャブの運営にも欠かすことの出来ない大切な人でもありました。

阿部さん、桑原さん、本当にお疲れ様でした！

お二人には運転以外ではまだまだ頼ることもあるかと思います。今後もしよろしくお祈りいたします。



阿部さんと宮田理事長



桑原さんと宮田理事長

平成29年度理事会体制

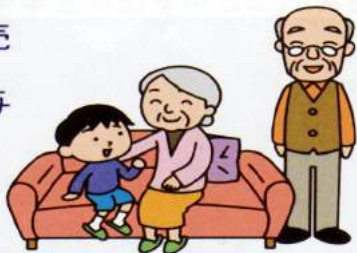
【役職】	【氏名】	【担当】
理事長	宮田 榮一	
副理事長	平 智享	総務部
副理事長	東垣 隆満	運行部
副理事長	佐藤 隆志	広報交流部
理事	吉野 正	総務・経理
理事	上條 正名	総務
理事	須山 正人	運行管理システム特任
理事	望月 栄成	整備担当・シニア研修
理事	生田 勇	運行担当
理事	坂本 昭雄	交流担当
理事	伊藤 五十鈴	交流担当
理事	加持 真人	研修担当
理事	吉沼 徳人	研修担当
監事	坂東 日出彦	
監事	清水 紘子	



私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



〈サカイ・ヘルスケア三鷹店〉
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

新事務員さんのご紹介



はじめまして、3月中旬にハンディキャブの受付に入りました小花（おばな）と申します。電話対応等、不慣れな部分がありますが、1日でも早く利用者の方々に満足していただけるよう頑張ります。また、6月の福祉有償運送運転者講習を受講予定で、運行の際、お会いできるのを楽しみにしていますので、宜しくお願い致します。

桑原さん安全運転者表彰



先程もご紹介しました桑原さんが、この度、安全運転表彰されました。桑原さんは長年にわたる安全運転でキャブでもお手本となるドライバーの1人でした。このように仲間が表彰されることは私達キャブにとって誇りでもあります。

桑原さんおめでとうございます！



交流誌あおぞら130号

制作スタッフ 写真：上條
執筆：加持
編集：佐藤

みたかハンディキャブ緊急連絡先

事務所時間外 17時～翌9時、土、日、祭日で発生した翌日および当日朝のキャンセル等で緊急に連絡が必要な案件は緊急連絡先へ連絡をお願いします。なお、この電話からの前日確認や予約はできません。

東垣副理事長・運行管理者 **080-1102-7281**

万一、上記連絡先で連絡が取れない場合のみ、下記にご連絡ください

- 平 副理事長 090-6503-7880
- 佐藤副理事長 080-5441-1965
- 宮田理事長 080-3256-8660

編集後記

暑くなってきましたね。あおぞら夏季号をお届けします。今号は一泊交流会記事をメインに仕上げました。私達が年2回（日帰りと一泊）実施している交流会では今迄いろいろな場所を訪れてきました。当然ですが晴れる日もあれば雨の日もあります。暑かったり寒かったり。でもそんなことは小さなことで。旅行で本当に大切なことは場所でも天気でもなく『人』ではないでしょうか。どんなに荒れた天気でも、何もない場所でも、そこに楽しい仲間たちがいればグラグラ笑える。それはもう立派な旅で。私はそう思います。私達が提案する交流会とはそんな仲間たちと気軽に行ける旅です。どうぞお気軽にお申込み下さい。今回の交流会の帰路のバスの車内、心に残る締め挨拶を何度も何度も復唱し出番を待っていた宮田理事長…司会にすっかり忘れられ出番がありませんでした。バスを降りてから寂しそうに『ずっと待ってたのに…』そうポツリとこぼした理事長がなんだか可愛かった。理事長ごめんね。次の交流会はお願いします。 S